

東北ブロック沿岸定線観測：2011年4月実施状況

東北ブロック 5 県（青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県）では、漁場における海洋環境情報を提供するため、浅海・沿岸・沖合定線（図 1）における海洋観測を継続してきました。

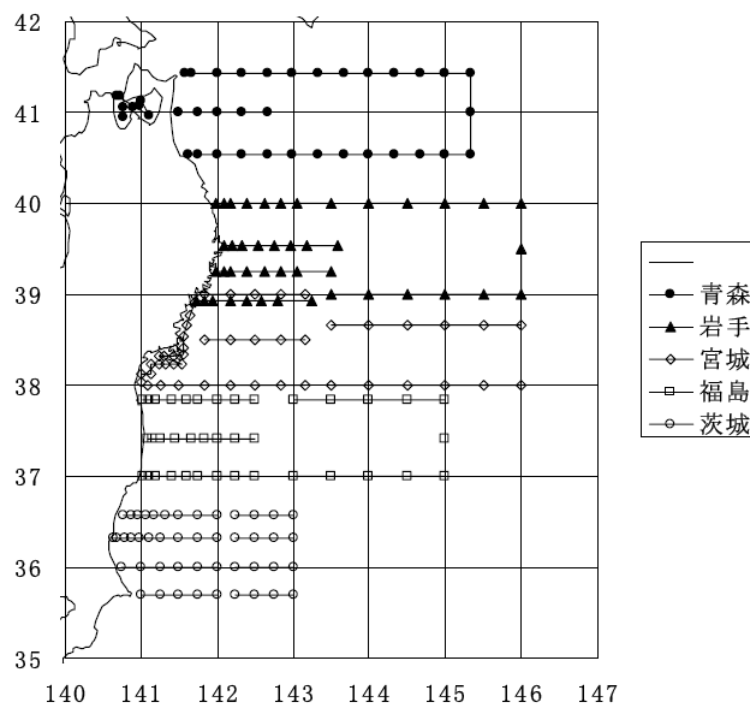


図 1. 東北海区の沿岸・沖合・浅海定線の分布

しかし、東日本大震災の影響で各県水産関係試験研究機関が甚大な被害を受けました（詳細は [http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/kaiyoubu/gyokaikyo/shinsai/20110330\\_kakuken\\_higai.pdf](http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/kaiyoubu/gyokaikyo/shinsai/20110330_kakuken_higai.pdf)）。このため、4 月は宮城県、福島県、茨城県での定線海洋観測が中止されました。また、岩手県岩手丸が定線海洋観測に向け出港しましたが、機器の故障のため、観測を断念しました。

水産総合研究センターでは、漁業の再開時の環境情報を提供するため、東北ブロック沿岸定線のうち、黒崎線、椿島線、亘理線、塩屋崎線（図 2）での定線観測を行いました。観測の結果の詳細については、[http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/kaiyoubu/gyokaikyo/shinsai/20110428\\_Hokko\\_houhoku.pdf](http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/kaiyoubu/gyokaikyo/shinsai/20110428_Hokko_houhoku.pdf)

をご参照下さい。

また、水温図については、

<http://tnfri.fra.affrc.go.jp/kaiyo/temp/temp.html>

に逐次掲載しておりますのでご参照下さい。

今後も各県水産関係試験研究機関と協力し、漁場での海洋環境情報の提供に努力してまいりますので、漁業の再開、水産業の復興にお役立て下さい。

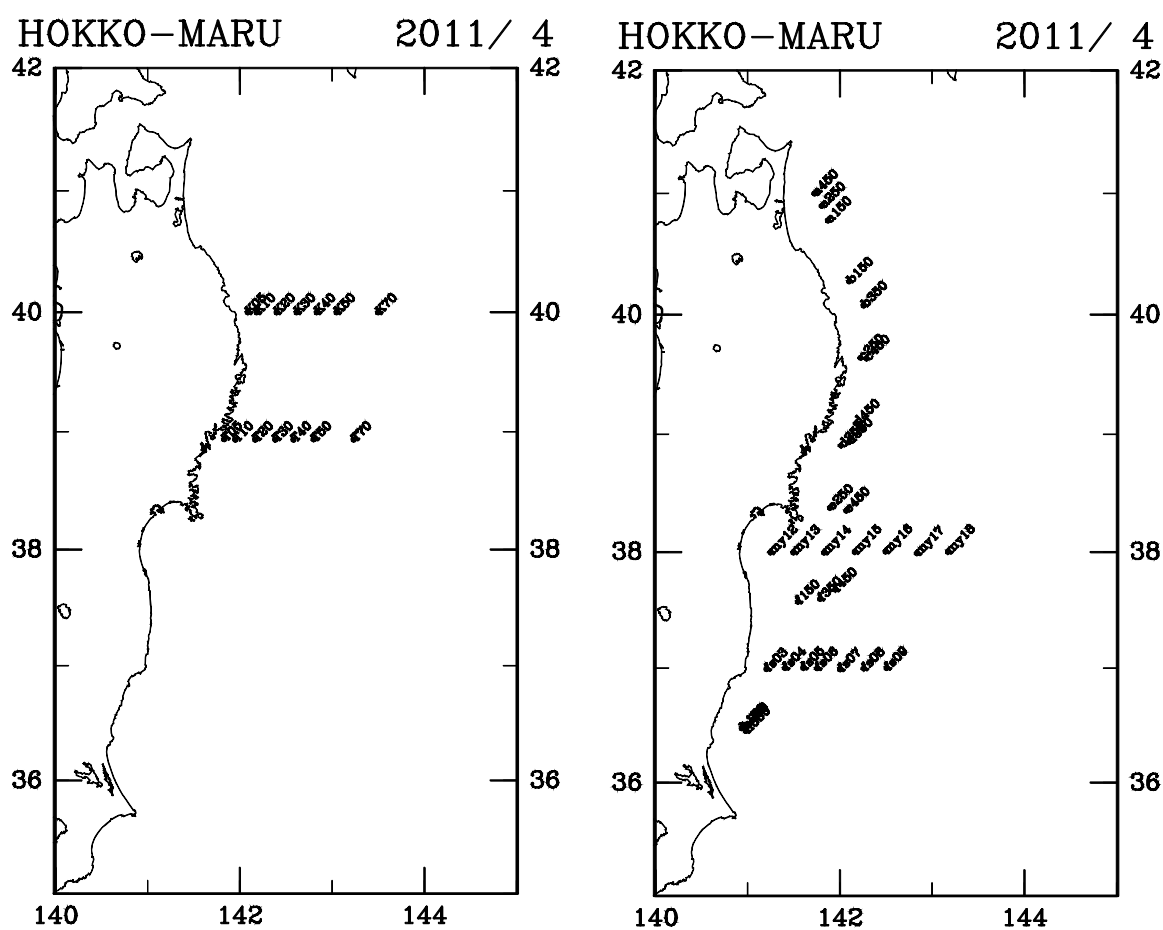


図2. XCTDによる観測点(左)とCTDによる観測点(右)。